

Q14. 市民活動、市民協働全般について、意見・要望などがありましたら、次の自由回答欄へお書きください。

自由記述

※原文ママ

- ・まち全体的に参加意識が高まる方法や、コミュニティの意識改革を変えていく。
- ・市民協働と言っても、抽象的で、具体的な内容がよくわからない。
- ・「市民協働」初めて聞く言葉で、具体的にどういうことなのかはっきりとは理解しきれていません。四日市市がもっとよくなればという想いは強くあります。なぜなら、文化的なことのレベルが低いと感じているからです。魅力ある町というのは、今の四日市のように大企業が環境を汚染しながら発展する町ではなく、知的、芸術的、などの文化的なレベルの高い街だと思います。四日市は町の中の小さな公園一つとっても、魅力がありませんし数も少ないと感じます。
- ・個人の負担になるような活動にならないこと
- ・具体的にどういうものが市民活動にあたるのか、その基準や規制がいまいち分かりません。
- ・協働とは、皆で協同して働くんでしょうか。働くんであれば賃金が発生しませんか。 賃金が発生しないのであれば「協動」（皆で協同して動く）にしたほうが良いように思います。 私は十数年前にこの言葉を聞いた時から変だと思っておりました。
- ・路上喫煙禁止区域のパトロール強化。
- ・市民の意識向上が必要だが、行政や議会が市民に促進を呼びかけることも大切である。
- ・各自治会はどのような位置にあるのでしょうか？
- ・若い頃は、子供たちの健全育成に関わるボランティア活動を行う時間が取れていたが、今は自分の子供の手が離れるまでは身動きが取りにくい。今後はまた時間を作り、ボランティア活動に参加したい。
- ・市民が生活しやすいように頑張ってほしい
- ・活動、協働の内容が分からぬ
- ・自主自立が理想であるが、現状は程遠いものがある。行政と協調して取り組めば良いものを、行政に異論を主張して対峙することを生き甲斐にしてる勘違い輩が多いので困ったものです。いわゆる「口だけの船頭」です。 そのような輩（連合会長・地区社協会長・自主防会長）とかは地区が据えた代表職ではあるが、あまりにも程度の低い輩は行政から承認拒否権なるものを発して排除できたら…と思います。
- ・よく知らない
- ・PRが不足しているように感じるので。SNS等を通じて啓蒙、参加呼びかけを積極的にした頂きたい。
- ・四日市市では、市民協働に関する立派なパンフレットがあります。市民センター等での配布だけではなく、広報に折り込んだり、自治会の回覧板で市民の目に触れるようにしてほしいと思います。
- ・市民活動という言葉を聞いたことがない人がほとんどだと思うので、そこから説明していくことが必要だと思います。
- ・私の印象では、どうしても市民活動などは慈善や人によっては偽善と思われるためにあまり参加したくない、そんな気がしています。活動内容を知らないために思う印象かもしれません。なので四日市ではどんな活動があるのかをもっと発信して欲しいです。
- ・行政も市民の自発性を待つ受動的な姿勢でなく積極的に関与すべきだと思う。
- ・市民活動に必要な市民活動団体や行政等との連携はできている様に思いますが、企業との連携には至

つていながら実情ではないでしょうか。組織としては成り立っていても、関わっている人達の人間関係がしつくりいっていないケースが多分にあり、人間関係づくりの方が大切で切実に思っているところです。

- ・市民活動と言うと特別な人達（活動家）の集まりの様に感じられるのと、団体、組織である以上、人間関係（上下・先輩後輩）が煩わしくないかがあり、中（参加）へ入っていくことを躊躇する。
- ・小生は、Q13で、市民一人ひとりが意識を高めること…と、記しました。小生も微力ながら、二種類の市民活動に係っていますが、1つは連続して14年間となりました。また、1つは、23年前に開始しています。長くされている方から見ればマダマダですが、継続。この継続性を持たせることが大切なことではないのかと思いますが…如何に？着手しても三月、半年で去られたり、辞められる人が多いのも目にしています。多くの人が、より長く市民活動を楽しむようにお願いしたいと思っております。
- ・誰が見てもわかるところに、わかりやすくすること。意見・情報なども簡単に投稿できるようにして、誰でも参加しやすいようにしてほしいです。
- ・高齢化によりコミュニティは早晚崩壊の様相をていしている、避けて通れないものであり、無理に維持することは、税収の減少もあり、市会議員の減少はもとより、全てについてコンパクト化を図り市民一人ひとりが、なにがなんでも、市がやってくれるといった甘え体質が、受け入れないことを自覚させるべきである。
- ・市民全般への浸透度が低く、画餅の餅にならぬよう体制と役割を明確にすることが肝要。・熟年（年寄）パワーをうまく活用する仕組みを作る。
- ・特になし
- ・歩道なり。自宅前の草刈りをすること。
- ・地域エネルギーを集結できるような環境確保
- ・PR活動を、市広報はもとより各商店にまで
- ・各地区市民センターからもっと強く市民にアピールしてほしい。
- ・情報をもっと詳しく回数も多くするべきだと思う
- ・まちづくり・人づくりなど交流の場を作りましょう。特に元気な高齢者に呼び掛けていきましょう。
- ・特になし
- ・市民が参加しやすい雰囲気を醸成出来るように、イベントなどの仕掛けが必要かと思う。
- ・市民活動、市民協働の啓発啓蒙をもっとシンプルに分かりやすく！バラ園の活動で「花と緑」基金を活用している私自身ですら良く理解できていなかった。「虎の巻」も良いが、具体的な活動事例紹介も充実すべき。
- ・活動資金を活動する人から徴収する（会費など）ようなことでは長続きしない。
- ・市民活動をしやすい環境づくりを整えてくださったり、実際に市民活動をされている方、いた方の口コミコメントなどをどこかに掲載されるのも一つの手かなと思います。
- ・一人でも多く市民協働出来る様にする。今まで参加していない人に身近な人が声をかけて、参加や手伝いをさせる。知恵を出す。
- ・行政が市民活動に関与や支援をしなくても良いと思う。
- ・市民活動に一旦参加すると、次回から参加出来ない時でも強制されるイメージがある。
- ・子供が小学生の頃に育成会の役員をさせられた。自主的とは程遠い強制の上、一旦繋がりが出来ると際限なく関連団体の役員をさせられて心身ともに負担増で辛かった。非協力的な人は何がなんでもか

かわらない、それがまかり通るのもやるせなかつた。誰もやりたがらない様な活動は不必要。

- ・市役所には、市民が市楽しみながら活動に参加できる機会を提供してもらえばと思います。対価を得ない活動を継続していくには、趣味の一環、興味があるなど参加する人にコスト以外のメリットが必要です。市役所には、こうした機会の創出のきっかけづくりを広くしてもらえばと思います。
- ・特になし
- ・活性化はリーダーの熱意が不可欠。リーダー育成と支援が必要。
- ・弱者や障がい者の場合、災害が起こった場合等の人数の把握や生存の確認が分かるか、どうか。
- ・市民活動の結果が伝わって来ない様に感じる為、なかなか積極的に参加しにくい
- ・市民活動を担う人材（若者だけではなく、退職後の高齢者も含む）を育成することが必要
- ・間口を広げる、初心者向けのプログラムの充実
- ・ゆるキャラの投票は成功しているように観じられます。
- ・このアンケートに答えていても市民活動や協働全般が、どのようなもので、何を目的としているのか、わかりにくいです。もっと、明確に、市民の人に知らせていいって欲しいです。
- ・市民への啓蒙や学校教育への取り入れ
- ・高齢独居者に対する生活支援の必要性が急速に高まる時代が到来するので全自治会に支援組織の組織立ち上げを促すよう働きかける必要がある。（ごみ出し、買い物、安全確認など）
- ・個人の生活を守るのに精いっぱい、余裕がないので、遠のく
- ・情報をいろいろな方法で提供してほしい。
- ・参加者は近くの活動には参加しやすい為、成功事例を各地区に展開する事で市民協働が広がると思う。軌道にのるまでの資金援助などの仕組みが必要。
- ・どういった物が「市民活動」に当たるのか良く分かりません。広報誌は情報が満載で把握しにくく、個別でチラシ等が配布されれば、もう少し目にとまるかと思います。
- ・団地内各丁毎に有料会員サロン（デイサービス）があるが、派閥や宗教や営利が絡み利用しにくい。一部凄い年寄が路駐・威圧・イジメで地域等々とモメル。見守り隊も地区によっては、経理不明（明細・帳簿不明）や御中元等の購入協力がある。
- ・気持ちがあっても、時間のない人が多そう　なかなか難しそう
- ・初めてこのことを気にしました。広報などでもっとアピールしてください。
- ・2018.10.18付け中日新聞に「14市町カードラリー始まる」が記載されていた。東海4県の歴史遺産を訪ねるこのイベントに四日市市はなぜ参加しなかったのか？
- ・正直なところ、言葉になじみもないし、日常意識したことがなかった
- ・宣伝の仕方を考えて、宣伝すべき。